

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-1)

[問題1] 疫学的因果関係について1~4の因果関係の判断の視点に合う解説を下の選択肢から選べ。

1. 関連の一致性— ()
2. 関連の整合性— ()
3. 関連の特異性— ()
4. 関連の強固性— ()

<選択肢>

- A 要因と疾患の関係について、他の疫学研究でも同様の結果が得られ、その結果が普遍的であること
- B 要因と疾患との間に強い関連があること
- C ある疾患に特定の要因があり、その要因があれば疾患があるといったように、特定の要因と疾患との間に特異的な関連が存在すること
- D 疫学によって得られた事実が、既知の知見や生物学的研究で得られた事実と矛盾しないこと

[問題2] 下肢静脈血栓によって塞栓が起こる可能性があるのはどれか。

1. 腎動脈
2. 肺動脈
3. 大腿動脈
4. 子宮動脈

[問題3] 骨盤臓器脱のPOP-Qステージ分類について正しいのはどれか。

1. ステージ0からVに分類される。
2. 全子宮脱はステージIIIに分類される。
3. 骨盤底筋群訓練はステージIII以上に推奨される。
4. ペッサリーの治療対象は、原則的にはステージII以上である。

[問題4] 表皮の構造を下層から並べた順序で正しいのはどれか。

1. 基底層—有棘層—顆粒層—透明層—角層
2. 角層—顆粒層—有棘層—透明層—基底層
3. 有棘層—顆粒層—基底層—角層—透明層
4. 透明層—有棘層—角層—顆粒層—基底層

[問題5] 後腹膜器官はどれか。

1. 卵巣
2. 子宮
3. 腎臓
4. 横行結腸

[問題6] 深部静脈血栓症の発症初期に現れる兆候はどれか。2つ選べ。

1. ケルニツヒ徴候
2. ホーマンズ徴候
3. ストラスマン徴候
4. ブルンベルグ徴候
5. ローウェンベルグ徴候

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-2)

[問題7] クループ症候群の特徴的な症状はどれか。

1. 笛音 (wheezes)
2. 呼気延長
3. 呼気性喘鳴
4. 犬吠様咳嗽

[問題8] 大腿骨頸部骨折で用いられる分類はどれか。

1. ガーデンの分類
2. ザンコリーの分類
3. ヒュー-ジョーンズの分類
4. NYHA の分類

[問題9] ユマニチュードの4つの柱に該当しないのはどれか。

1. 見る
2. 話す
3. 聞く
4. 立つ
5. 触れる

[問題10] 性器の分化について (①) ~ (④) 内に適したものを下記の語群 a~h から選べ。

身体 (性器) の性は、主に性腺からの性ステロイドホルモンにより決定される。

胎生5週には中腎やウォルフ管が発生し、次いでミュラー管がウォルフ管に沿って発生する。

男性では、精巣からの (①) の分泌がミュラー管の退縮を促し、(②) がウォルフ管の発育を促し、性器が男性化する。

女性では (①) と (②) の影響を受けず、(③) は発育して子宮などの女性内性器に分化し、(④) は退縮する。

<語群>

a: 抗ミュラー管ホルモン b: アンドロゲン c: エストロゲン d: テストステロン
e: ミュラー管 f: ウォルフ管 g: プロゲステロン h: SRY 遺伝子

[問題11] 令和4年のわが国の人口動態事象で正しいのはどれか。

1. 出生は72万7277人で前年より減少した。
2. 婚姻は47万4717組で前年より減少した。
3. 離婚は18万3808組で前年より増加した。
4. 合計特殊出生率は1.26で前年よりも減少した。

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-3)

[問題 12] 令和5年に離婚した夫婦の同居期間別にみた離婚件数が高い順に並んでいるのはどれか。

ア：5年未満 イ：5年以上10年未満 ウ：10年以上15年未満 エ：15年以上20年未満
オ：20年以上

1. ア→イ→ウ→エ→オ
2. ウ→ア→エ→イ→オ
3. イ→オ→ア→エ→ウ
4. ア→オ→イ→ウ→エ

[問題 13] 令和4年に出生した児の体重と身長について正しいのはどれか。

1. 出生時の平均体重は男女ともに3kg未満である。
2. 出生時の平均身長は男女ともに50cm未満である。
3. 出生時体重4kg以上の巨大児の割合は男女ともに5%以上である。
4. 出生時体重2.5kg未満の低体重児の割合は男女ともに10%以上である。

[問題 14] 令和4年に報告された感染症患者数で下記のうち最も患者数が多いのはどれか。

1. 梅毒
2. 百日咳
3. 腸管出血性大腸菌感染症
4. 劇症型溶血性連鎖球菌感染症

[問題 15] 妊産婦死亡について正しいのはどれか。

1. 令和4年の妊産婦死亡数は33人である。
2. 妊娠中または妊娠終了後28日未満の女性の死亡である。
3. 直接産科的原因によるものよりも間接産科的死亡のほうが多い。
4. 妊産婦死亡率は妊産婦死亡数÷(出生数+死産数)×10,000で表される。

[問題 16] 低体重児の届け出が明記されている法律はどれか。

1. 母子保健法
2. 生育基本法
3. 児童福祉法
4. 母体保護法

[問題 17] 更年期以降の女性に起こりやすい疾患で、閉経後に改善するのはどれか。

1. 子宮筋腫
2. 萎縮性膣炎
3. 脂質異常症
4. 骨粗しょう症

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-4)

[問題 18] 看護過程および看護理論について正しいのはどれか。

1. 臨床推論とは臨床判断の結果として下す判断のことをいう。
2. 看護理論は大理論・中範囲理論・小範囲理論に分類できる。
3. ロイの適応看護モデルでは、4つの適応様式に分類している。
4. クリティカルシンキングとは実践を通して経験から学ぶための思考プロセスで、「内省・省察・熟考・反省・振り返り」などと訳される。

[問題 19] 多毛、にきび、声の低音化、肥満、月経異常を伴う疾患はどれか。

1. 卵巣嚢腫
2. 子宮内膜症
3. 多嚢胞性卵巣症候群
4. 卵巣過剰刺激症候群

[問題 20] 思春期の健康障害について正しいのはどれか。

1. 4か月以上月経が停止したものを続発性無月経という。
2. 若年女性に見られる月経困難症は機能性よりも器質性が多い。
3. 15歳をすぎても初経が起らないものを原発性無月経という。
4. 思春期やせ症は死亡率、慢性化率、再発率が高い難治性の疾患である。

[問題 21] 受精について正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

1. 受精は卵管采で起こる。
2. 受精卵は胞胚の段階で着床する。
3. 受精卵は受精後2~3日で着床を開始する。
4. 卵子が受精能をもつ期間は排卵後48時間である。

[問題 22] 胎児と母体の位置関係について () に当てはまる語句を入れ文章を完成させなさい。

胎児の縦軸と子宮の縦軸との関係を (①) といい、児背または児頭と母体との関係を胎向という。縦位では児背が母胎の右側に向かうものを (②) 胎向、左側に向かうものを (③) 胎向と呼ぶ。(④) とは胎児の姿勢を意味する。

[問題 23] 高度の胎児貧血を伴う胎児水腫を発症する母子感染症はどれか。

1. 風疹ウイルス感染症
2. トキソプラズマ感染症
3. パルボウイルス B19 感染症
4. 水痘-帯状疱疹ウイルス感染症

[問題 24] 妊娠期のマイナートラブルへの支援について正しいのはどれか。

1. 動悸 — 側臥位で臥床する。
2. 静脈瘤 — 血液循環促進のための運動療法
3. 片頭痛 — 常用薬の非ステロイド性抗炎症薬 NSAID_s 内服
4. 下肢のけいれん・こむら返り — サプリメントや食物からの葉酸摂取

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-5)

[問題 25] 前置胎盤について正しいのはどれか。

1. 子宮底は上昇する。
2. 出血は鮮紅色を呈す。
3. 激しい腹痛を訴える。
4. 腹部が板のように硬くなる。

[問題 26] ウェルニッケ脳症予防目的で妊娠悪阻の輸液製剤に付加するビタミンはどれか。

1. ビタミンA
2. ビタミンB₁
3. ビタミンC
4. ビタミンD

[問題 27] 妊娠糖尿病 (GDM) と診断された妊婦への看護について正しいのはどれか。

1. 食事は4~6分割食をすすめる。
2. 経口糖尿病薬を内服し血糖コントロールをおこなう。
3. 薬剤による血糖コントロールが良好な場合運動療法は提案しない。
4. 出産後は耐糖能異常が改善するため、産後のフォローアップは必要ないと説明する。

[問題 28] 出生前診断を目的とした羊水検査の説明で適切なのはどれか。

1. 簡便に検査ができる。
2. 流早産のリスクは10%である。
3. 検査結果は採取後すぐに判明する。
4. 血液型不適合妊娠の診断が可能である。

[問題 29] 35歳。初産婦。分娩第2期が遷延し微弱陣痛となった。また胎児機能不全を疑う所見を認めたため、吸引分娩となった。胎盤娩出にも時間がかかり、強く臍帯を牽引しながら子宮底を圧迫して胎盤を娩出した。産婦は唸るような下腹部痛を訴え、胎盤娩出直後から大量の出血、血圧の低下を認めた。内診で膣内に硬い腫瘤を触知し、超音波にて子宮底の内膜腔陥落が認められた。産婦は冷汗、顔色不良となり呼吸困難を訴えた。

考えられるのはどれか。

1. 弛緩出血
2. 子宮内反
3. 子宮破裂
4. 常位胎盤早期剥離

[問題 30] 遷延分娩について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 原因は微弱陣痛、巨大児、軟産道強靱、胎位・胎勢の異常などである。
2. 初産婦において分娩開始後20時間経過しても児の娩出に至らないものをいう。
3. 経産婦において分娩開始後15時間経過しても児の娩出に至らないものをいう。
4. 第2期遷延は初産婦で子宮口全開大後3時間以上児が娩出されない場合をいう。
5. 第2期遷延は経産婦で子宮口全開大後2時間以上児が娩出されない場合をいう。

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-6)

次の文を読み [問題31] [問題32] に答えなさい。

32歳。初産婦。朝10時に陣痛発来し12時間が経過した。産婦から「何か出ました」と訴えがあった。内診所見は子宮口9cm開大、展退90%、児頭下降度+1cm、子宮頸部の硬さ軟、子宮口の位置中央であった。胎胞形成(-)、羊水流出(+) 陣痛間欠3分、陣痛発作50秒で肛門圧迫感を訴えている。

[問題31] 現在の産婦の状態ですべて正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 前期破水である。
2. 微弱陣痛である。
3. 遷延分娩である。
4. ビショッブスコアは12点である。
5. フリードマン曲線の減速期である。

[問題32] 午後11時に子宮口全開大となった。産婦は強い排便感と努責感を訴えている。

この時点のケアとして正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 呼吸法で努責を逃すように指導する。
2. ベッド上で仰臥位で過ごしてもらう。
3. 排便感が認められるためトイレに誘導する。
4. 分娩室の準備をして産婦を分娩台に移床する。
5. 分娩監視装置を装着して児の状態を観察する。

[問題33] 第2回旋の異常はどれか。2つ選べ。

1. 前方前頭位
2. 後方後頭位
3. 低在横定位
4. 前方頭頂位
5. 頤部前方顔位

[問題34] 骨産道について正しいのはどれか。

1. 解剖学的真結合線は児頭骨盤不均衡(CPD)の診断に重要である。
2. 産科的真結合線は岬角中央と恥骨結合上縁中央を結んだ線である。
3. 外結合線は恥骨結合上縁中央と第5腰椎棘突起先端直下を結んだ線である。
4. 解剖学的真結合線は岬角中央と恥骨結合後面との最短距離を結んだ線である。

[問題35] 軟産道について正しいのはどれか。

1. 膣は産道の最後の抵抗部位である。
2. 子宮頸部は軟産道の中で最も抵抗が大きい。
3. 解剖学的内子宮口と組織学的内子宮口の間を子宮頸部という。
4. 分娩が進行すると組織学的内子宮口は輪状の隆起(生理的収縮輪)を形成する。

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-7)

[問題 36] 臍帯について正しいのはどれか。

1. 臍動脈が1本と臍静脈2本がある。
2. 30cm未滿の臍帯を過短臍帯という。
3. 臍帯巻絡は全分娩の10%~15%にみられる。
4. 卵膜付着では胎児機能不全のリスクが高くなる。

[問題 37] 分娩時異常出血のある産婦の看護について①~④にあてはまる名称を下記の語群から選び、解答欄に記述しなさい。

分娩中および分娩後2時間までの出血量が、500ml以上の出血を分娩時異常出血という。分娩においては、外出血が少量でも生命の危機となる腹腔内出血・後腹膜出血をきたす疾患も存在する。計測した出血量のみにとらわれることなく、バイタルサインの異常【(①)・低血圧】、乏尿、ショックインデックス【 $SI = (②) \div (③)$ 】に留意して管理する。妊婦の場合、 $SI = 1.5$ の場合、約(④)ℓの出血量であることが推測される。

<語群>

- | | | | | | | | |
|------|------|-----------|--------|--------|------|------|----|
| ・多呼吸 | ・徐脈 | ・頻脈 | ・収縮期血圧 | ・拡張期血圧 | ・心拍数 | | |
| ・脈拍数 | ・呼吸数 | ・ SpO_2 | ・1 | ・1.5 | ・2 | ・2.5 | ・3 |

[問題 38] 産褥期の生理的变化で正しいのはどれか。

1. 呼吸は胸腹式から胸式に戻る。
2. 分娩後は一時的に尿量が減少する。
3. 循環血液量は分娩後2~3週で非妊時の値に回復する。
4. 子宮が非妊時の大きさに戻るのは分娩後約2週である。

[問題 39] 機能性子宮復古不全の原因はどれか。2つ選べ。

1. 微弱陣痛
2. 子宮筋腫
3. 授乳中止
4. 子宮内感染
5. 膀胱・直腸の充満

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-8)

次の文を読み [問題 40] [問題 41] に答えよ

Aさん(38歳、初産婦)は、妊娠40週0日に破水したが気づかず、40週3日に陣痛発来にて入院した。入院時母体発熱38.0℃、羊水混濁(+)胎児心拍175bpmで8時間後に3080gの女児を出産した。女児はアプガースコア1分後5点、5分後7点であった。新生児発熱と呼吸障害のためNICUへ入院し、Aさんのみ産褥5日目に退院した。

[問題 40] Aさんは産褥8日目、児の退院に向け、育児技術習得を目的に2泊3日予定で産婦人科病棟に付き添い入院となった。乳房緊満なし。搾乳器により1日5回、30ml程度搾乳できている。入院中の乳房緊満が消失し、退院後は乳汁分泌不足を訴えている。茶色の悪露少量付着程度、全身倦怠感あり。Aさんは「体がなんとなくだるいです。理由もないのに涙が出てきます。夜になると子どもが寂しい思いをしていないか、私が破水に気が付かなかつたばかりに申し訳ないことをしたと思い、なかなか眠れません。こんな気持ちの私が子どもを連れて帰って大丈夫でしょうか。」と涙ぐんでいる。

Aさんの状態として最も考えられるのはどれか。

1. 不眠症
2. 不安神経症
3. 産後うつ病
4. マタニティブルーズ

[問題 41] Aさんは女児の退院時「3日間お世話をしてみて、なんとなくイメージが湧きました。看護師さんに案内してもらった産後ケアのサービスをさっそく明日から利用してみたいと思います。退院はまだ先と思っていたから、心の準備もできていなくて、不安ばかりがつのっていたけど、少し気持ちが楽になりました。」と話している。

産後ケア事業について誤っているものはどれか。

1. すべての市町村で実施されている。
2. 対象者は産婦、その新生児・乳児である。
3. 市町村の事業であり公費により利用料金が助成される。
4. 児を預かり母親の睡眠時間を確保、授乳・育児の実技指導などのサービスを受けることができる。

[問題 42] 下記のアプガースコアは何点か。

心拍数 105 回/分	弱い啼泣	刺激に対して顔をしかめる
手足をやや屈曲する	全身チアノーゼ	

1. 4点
2. 5点
3. 6点
4. 7点

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-9)

[問題 43] FGR (胎児発育不全) 児が出生後に起こしやすい合併症について誤っているのはどれか。

1. 多血症
2. 低体温
3. 低血糖
4. 高カルシウム血症

[問題 44] 新生児の呼吸の生理的特徴で正しいのはどれか。

1. 口呼吸が主である。
2. 胸式呼吸が主である。
3. 周期性呼吸がみられる。
4. 成人に比べて1回換気量が多い。

[問題 45] 新生児の体温調節で正しいのはどれか。

1. 褐色脂肪を含んだ組織は腹部、大腿骨周囲に多く存在している。
2. 寒さにさらされても震え (筋肉の不随意運動) による熱産生は起こらない。
3. 成人に比べ体重当たりの体表面積が大きいため蒸散により熱が喪失しやすい。
4. 出生直後の羊水で濡れている児をそのままにしている場合は輻射による熱喪失は多大である。

[問題 46] 災害時の避難所における新生児・乳児へのケアで正しいのはどれか。

1. 授乳室がない場合はできるだけ人工乳を与える。
2. 入浴ができない場合はおしり拭きで全身清拭する。
3. 配布された硬水のミネラルウォーターで調乳する。
4. 備蓄が枯渇しないようにおむつ交換は最低限にする。

次の文を読み、[問題 47] [問題 48] に答えよ。

妊娠週数 37 週 3 日、2900 g で出生した女児。生後 3 日目。児の体重は 2700 g。体温 36.8 度、心拍数 128 回/分、呼吸数 52 回/分。血清ビリルビン値 17.0 mg/dL。排尿 6 回/日、排便 5 回/日 (胎便)。レンガ色の排尿がみられた。おむつ交換時、陰部から少量の出血がみられた。背部・胸部には赤い斑点があり、中央に黄色い隆起状の丘疹がみられた。2~3 時間毎に母乳を飲んでいる。

[問題 47] 3 生日目の体重減少率を求めなさい。(少数第 2 位を四捨五入せよ。)

%

[問題 48] 3 生日目の状態に対応の優先度が高い所見はどれか。

1. 胎便の排泄
2. 体重が 2700g
3. 陰部からの出血
4. 血清ビリルビン値 17.0 mg/dL

令和7年度 助産学科看護学一般試験問題 (10-10)

[問題 49] 1歳6か月児健康診査で成長発達の目安を評価する項目として正しいのはどれか。

1. 3語文を話す。
2. きれいな丸が書ける。
3. 積み木を2～3個重ねる。
4. 同年齢の子供と遊ぶことができる。

[問題 50] 乳幼児に接種するワクチンで定期接種ではないものはどれか。

1. 日本脳炎
2. 水痘 (みずぼうそう)
3. おたふくかぜ
4. MR (麻疹・風疹混合)